

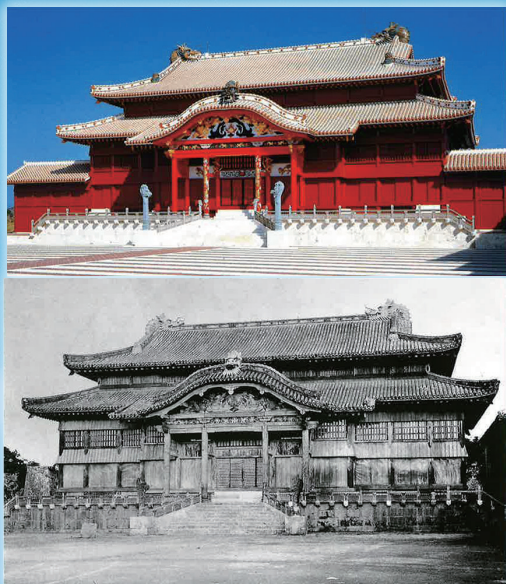
一般社団法人 昭薬同窓会

沖縄特集号

No.
127
年2回発行

昭薬同窓会会報

2024年10月31日



首里城正殿 沖縄美ら海財団「首里城物語」より
資料提供／沖縄県 美里 安敏様 (D-26B 昭53卒)



沖縄県の県蝶「オオゴマダラ 成虫と蛹」
撮影者／沖縄県 大城 喜一郎様 (D-20 昭47卒)



トライアスロン練習風景 宮古島にて
写真提供／沖縄県 牧野 星様 (D-42Y 平6卒)

【主な内容】

ご挨拶 「昭和薬科大学・沖縄県・昭薬同窓会の繋がり」 同窓会会長

寄稿 「学長就任にあたって」 昭和薬科大学学長 宇都口 直樹 氏

沖縄特集 皆様からのメッセージ

寄稿 「我が母校との良縁」 崎山(旧姓 伊波)慶子 氏(D-19A)

「昭和薬科大学及び附属中高校創設」 島袋 幸昭 氏(D-20B)

「昭和薬科大学附属高校50周年記念によせて」 国吉 正道 氏(D-20B)

「我が青春の薬理学教室」 大城 喜一郎 氏(D-20B)

「我が学生時代の思い出」 大城 聡 氏(D-24B)

「薬品化学研究室の思い出」 前原 信照 氏(D-29B)

「トライアスロン薬剤師 その2」 牧野 星 氏(D-42Y)

神奈川県薬剤師会の紹介 小川 護 氏(D-31B)

クラス会便り D-11B D-18B D-29AB

昭薬同窓生リレー寄稿 第12回 吉新 裕司 氏(D-54S)

会員のひろば お知らせ



昭和薬科大学附属高等学校・中学校 沖縄浦添市
撮影者／島袋 幸昭様 (D-20B 昭47卒)

理事及び監事の選出並びに立候補の届出等
の受付に関する告示

第13回 一般社団法人昭薬同窓会社員総会報告

※表紙背景「伊良部島17END 幻のビーチ」 写真提供／沖縄県 牧野 星様

昭和薬科大学・沖縄県・昭薬同窓会の繋がり

一般社団法人昭薬同窓会代表理事

代表理事（会長）田口 恭治（D-22B 昭和49年卒）



同窓生の皆様におかれましてはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

同窓会の広報部では数年前から同窓会会報での沖縄県特集を企画していました。その会報127号は沖縄県特集号として3000部が発行されます。会報表紙の写真は浦添市にある昭和薬科大学附属高等・首里城や沖縄県の県蝶として制定されたオオゴマダラです。127号の沖縄県特集号には沖縄の同窓生から多くの寄稿や写真を頂きましたことを心より御礼申し上げます。その写真にある昭和薬科大学附属高等学校は沖縄県の進学校として昨年創立50周年を迎えましたので、昭和薬科大学附属高等・中学校学校と昭和薬科大学の近況について少し紹介したいと思います。学校法人昭和薬科大学は太平洋戦争で多大な犠牲を被った沖縄県の人材育成を目的に昭和49年に理科系の附属高等学校を1学年定員60人の小規模で開校しました。昭和61年には附属中学校が併設され、現在は、約1200名の在校生が在籍し、沖縄県を代表とする中高一貫校の進学校として栄えある歴史を築いています。その附属高等学校から毎年数名が昭和薬科大学に入学し、薬剤師として巣立って地元沖縄

に戻り沖縄の医療に貢献されています。今年の3月、渡部理事長が沖縄県主催による「薬学部設置の必要性を考える」シンポジウムに招聘されました。シンポジウムでは沖縄県の薬剤師が慢性的に不足し、地域医療の現場に支障を来している現状について討論されました。沖縄県では薬剤師不足を解消するために新たに薬学部設置を検討することを含め薬剤師の養成・確保で議論されています。6月には昭和薬科大学が地域に貢献できる薬剤師の育成・確保に向けた連携協定を沖縄県と締結しました。さらに、大学は沖縄県で指定校推薦枠拡充や薬剤師の就職支援を行なうとのことです。また、8月10日には、沖縄県の児童に薬剤師のことをもっと知ってもらう為に附属校を会場として「こども薬剤師調剤体験会」を開催し、盛況であったとのことです。このように、昭和薬科大学が沖縄県と協同して薬剤師育成に貢献していますので、昭薬同窓会は薬剤師認定制度認証機構（CPC）の認証を受けた研修機関として沖縄県の薬剤師の皆様には生涯研修が活用できるように努力し、多くの同窓生が活躍する沖縄でも支部会活動を通して有機的な繋がりを確立できる様に進めて参ります。

沖縄県×学校法人昭和薬科大学 薬剤師等の育成・確保における連携協定を締結

沖縄県（知事：玉城デニー）と学校法人昭和薬科大学（理事長：渡部一宏、学長：宇都口直樹、附属高等学校・中学校校長：富里一公）は、相互に連携・協力に努め、地域に貢献できる薬剤師等の人材を育成・確保を図るとともに、地域の活性化、地域課題の解決とそれに資する教育・研究等、相互の発展に寄与することを目的として2024年6月25日付で連携協定を締結しました。

※本件は薬事日報（2024年6月28日）に掲載されました。大学HPよりご覧になれます。

<https://www.shoyaku.ac.jp/news/detail/1306>



広告



おかげ様で147年

- ・食品添加物、プール用殺菌剤(医薬品)環境薬品等の販売
- ・茨城工場はHACCP導入型GMPを取得、食品添加物のOEM事業を展開

〒103-0008 東京都中央区日本橋中洲12-10 TEL03-3668-6781（代）



ホームページ：<https://www.kuratani-kagaku.jp>

倉谷化学産業株式会社 代表取締役会長 倉谷宏孝（D-27A）

学長就任にあたって

昭和薬科大学学長 宇都口 直樹



本年4月より学長を拝命いたしました宇都口直樹です。同窓会会員の皆様にご挨拶の機会を与えていただき誠にありがとうございます。

私は平成7（1995）年4月に本学薬剤学研究室の助手として採用いただきました。当時研究室には松本光雄教授、渡辺善照助教授、藤井まき子講師、松本宜明講師、そして私という5人体制でした。7年間の勤務の後、縁あって帝京大学薬学部に移動し、そこで14年間勤務後、再度、昭和薬科大学薬剤学研究室に教授として戻って参りました。再任2年目からは学長補佐、3年目からは副学長を拝命し、6年間副学長を務めた後、現在に至ります。

私にとって社会人としてのスタートは昭和薬科大学であり、助手、講師として働いていた当時、学生との距離も近く、研究にも遊びにも全力で、とにかく楽しい思い出ばかりで、大学教員という仕事を選んで本当に良かったと思える時期だったと感じています。

再任後は、3年目から副学長となり、大学運営に仕事内容がシフトし、今年度から研究室を離れ、学長専任となり、大学運営に専念しております。

さて、皆様もご存知かと思いますが、現在の私立薬系大学をとりまく環境は大変厳しいものです。現在、私立薬系大学は60校を超え、この乱立ともいえる状況で、この春の入学者数が定員80%未満となった「定員割れ」の大学が1/3以上に達しました。来年度、入学者募集を行わない大学もあり、また今後、入学定員を減らさざるを得ない大学も多数出てくると予想され、私立薬系大

学淘汰の時代が迫っています。

一方で、社会が求める薬剤師の役割はますます高度化し、今後は社会で活躍できる人材を輩出できる薬系大学のみが生き残っていけるものと考えています。本学は、いわゆる見かけの薬剤師国家試験合格率は、全国平均程度と伝統校としては少し物足りないところであり、諸先輩方からお叱りをうけることもございます。しかし、修業年限内卒業率（一度も留年せずに、6年間で卒業する率）はここ数年、私立薬系大学ベスト10入りをしており、またストレート合格率（6年間で卒業し、国家試験にも1回で合格）も70%を超え、私立薬系大学でも十数位を保っており、現在の本学の大きな長所となっています。これも、本学の伝統であり、教員と学生の距離が近く、きめ細やかな対応を行っていることが大いに関係していると思います。

さて、本年4月初旬、業界紙に「第三者評価」に関する記事が掲載され、本学が「教育課程に問題」との見出しが出ておりました。見出しだけを見ると、「不適合」の判定となったと誤解されるものですが、ご安心ください。本学は大学基準協会、薬学教育評価機構の両方から「適合」の認定を受けております。もちろん改善すべき点は多々あり、特に薬学教育評価機構から数多く教育課程の問題点について指摘を受けました。今後はそれらの改善に努め、社会で活躍できる人材の輩出に一層注力して参ります。

今後とも、同窓会の皆様からの母校への温かいご支援を末永くお願い申し上げます。

岡山県岡山市、備前市、新見市のあかり薬局グループです。

株式会社あかりファーマシー



「地域の人々の健康で豊かな暮らしに貢献すること」
そんな想いによって動いている企業です

AKARI
PHARMACY
CORPORATION

株式会社あかりファーマシー

代表取締役 岩野寛樹 (D-44S 平成8年卒)

TEL:086-297-5551, E-mail: info@akarix.com, HP: https://www.akarix.com/

我が母校との良縁

崎山 慶子 (旧姓伊波) (D-19A 昭和46年卒)

卒業して早54年が経ってしまいました。同窓会の監事として活躍なさっている村上先輩とは有機薬品製造学研究室で助手として一年だけ一緒に過ごしていただき、その後もずっと連絡を取り合い、多くの学びと元気を頂戴しています。

入学した頃は沖縄からはまだパスポート所持での上京でした。一年目は玉川寮で過ごし、やはり一抹の不安はあり、眠れない日もありましたが、同室の先輩のやさしさにホームシックも薄れ安心へと変わり、大学生活に前向きになれた気がしました。

二年目からは下宿生活をし、なんとなく開放感がありました。そんな折、「大学創立40周年記念の一環としてプラスバンド部を立ち上げるので一緒にやってみないか？」とA君から声を掛けられ入部したものの、これといって楽器を吹いたこともない私。クラリネットはどうかと思い経験者より教えていただきながら吹くと「音がでた～!!」と好きになりました。練習が楽しくなりました。白樺校舎での合宿も経て何とか吹けるようになり、後輩もできた一年後、ステージで演奏できたことが嬉しく、ひとつの自信に繋がりました。

卒業後は前述の助手勤務の後に、帰郷し薬局に一年勤めました。その後、先輩の指導の下十数名で「昭和薬局〇〇店(チェーンストア)」としてOTC薬局を始めました。同窓で和気藹々としてとても楽しかった。

その頃に理事長の萩原先生だったの悲願であった

沖縄県に附属高校が新設されることになりました。ところが開校寸前に東京理科大より赴任なさるはずだった地学の先生が来れなくなった、との事で教員免許を取得していた私に「一年でいいから代役をやってくれ!」と説得をされ受けるしかありません。研究室勤務も一年で退職してしまった自分への罰かと思いました。覚悟して進むしかなく、緊張して教壇に立ちました。どのように教えたのか記憶を辿ってみますと恥ずかしい思いです。

一年間の教員勤めを終え、その一年後の3月に大学の学生さん達とヨーロッパ研修旅行に20日間参加する機会もありました。医薬分業、広い製薬工場等を目の当たりにし、薬学は4年制では学びが足りないと思つづく思つたものです。

平成4年より調剤薬局をやらなければならなくなり、同期の友人の助けを得て始めることができました。薬剤師として私の描いていた本来の仕事に近づいたような気がしました。地元という立地条件もよく、患者さんやスタッフにも恵まれ、平成28年まで続け、紆余曲折ありましたが後輩に引き継ぐ事ができました。

40年余り、薬局経営に携わりその間に学校薬剤師、薬物乱用防止推進委員、介護認定審査員として従事することもできました。緊張の日々でしたが、家族の理解がありこれまでやれたと感謝しています。

昭和薬科で過ごした5年間は私の人生の礎であり、良縁だと心より感謝の念で一杯です。

昭和薬科大学及び附属中高校創設立

島袋 幸昭 (D-20B 昭和47年卒)

沖縄附属高校設立50周年に合わせた同窓会会報沖縄特集号の原稿を書くにあたり、大学設立の過程と附属高校設立に関わる事項について、昭和43年10月15日発行の「昭和薬科大学40年史」を参照すると次のようになっていきます。

昭和初期の薬剤師免許の取得は、薬学校生については卒業後に薬剤師免許試験を受け合格する必要がありましたが、薬学専門学校卒業生は無試験で許可されていたようです。そのため、東京女子薬学校において薬学専門学校昇格運動が起こり、それを契機に昭和5年(1930)4月に東京府の許可を得て昭和女子薬学校が設立されました。昭和女子薬学校は昭和5年(1930)11月26日に日本女子薬学校との合併により新たに昭和女子薬学専門学校として設立認可され、その後、昭和20年(1945)1月に世田谷区弦巻町に移転しました。昭和24年(1949)2月21日

に昭和女子薬科大学設置認可を受け、同年10月8日に昭和女子薬科大学から昭和薬科大学に学校名変更を決議(理事会、評議員会)し、昭和25年(1950)2月8日男女共学制をとる昭和薬科大学として設置認可されました。平成2年(1990)に世田谷キャンパスから町田キャンパスへ移転し、令和2年(2020)創立90周年を迎えています。

長年にわたり、数多くの卒業生を社会に送り出し続けていることに、敬意を表します。

次に、沖縄附属高校設立に関わる事項については次のとおりとです。昭和41年(1966)7月14日、附属高校の沖縄新設を計画し、沖縄浦添村(現浦添市)にある約2万3千坪の土地を賃貸借する事としました。昭和42年(1967)1月28日、萩原理事長、草味学長、花岡理事3名が現地に出張し、沖縄浦添村所在土地所有者と借地総坪数2万2767坪の賃貸借契

約を締結しました。昭和42年（1967）2月6日附属沖縄高校設置に関する方針が決定され、同年5月31日に設置委員11名が選任されました。沖縄在住の父兄や卒業生の要望により、昭和43年（1968）3月27日～30日に全評議員が視察し、附属高校設立推進期成会が誕生しました。昭和49年（1974）に沖縄附属校を設立し、昭和61年（1986）には附属中学が併設され、令和5年（2023）に設立50周年を迎えました。

方丈記に「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず」と喩えられているように、現代においても、科学技術、社会制度、人権や環境などに関する意識等が絶えず変化し続けています。その変化は日常的には急激な変化とは意識されにくいですが、今日では普通に使用されている携帯電話やインターネットなどは学生時代には存在しなかったように、長い期間でみると大きな変化が見られます。本学の沿革には「戦災による校舎の焼失をはじめ幾多

の試練にみまわれましたが、学生、教員、父兄らが一致協力して学園を盛り上げてきたことが今日の礎となっています」と記載されています。大学や附属中学校の創設、現在は行われていない各地方での現地試験の開催などを振り返ると、同窓会が共に活動することが大学の発展に寄与していることがわかります。

沖縄には薬剤師を養成する大学がなく薬剤師不足が深刻とのことです。そのため、沖縄での現地試験を再開すると聞いています。また、本学薬学部卒業生の子や本学薬学部在学生の兄弟姉妹、昭和薬科大学附属高校の卒業生を対象に薬学部入学金減免制度（35万円）や成績優秀な学生を対象に特待生制度が設けられるとのことです。少子高齢化が進む日本において、これからの時代の波に飲み込まれることなく発展していくためには、大学のこうした制度を活用しながら同窓生と大学が協力して行くことが重要だと思っています。

沖縄で同窓生が活躍しています!!

皆様からのメッセージ

めんそうれ!
やんばるへ
オギドウ薬局

沖縄県名護市宇宮里453-6

荻堂 盛浩 (D-19A 昭和46年卒)

荻堂 隆 (D-23A 昭和50年卒)

池宮 恵美子 (D-20B 昭和47年卒)



A Pharmacy For All.

とくりん薬局

代表取締役 薬剤師

大城 朝徳 (D-26A 昭和53年卒)

Asanori Oshiro

株式会社ユース

901-1103 沖縄県島尻郡南風原町字与那覇283

Tel : 098-963-5001 Fax : 098-963-5003

http : //www.okinawa-youth.jp

ぼたん薬局



自然との調和

心身一如

代表 島袋 功

ISAO SHIMABUKURO

(D-27B 昭和54年卒)

subaru715@sirius.ocn.ne.jp

ぼたん薬局 〒900-0013

沖縄県那覇市牧志2-19-10

TEL 098-867-3065

FAX 098-867-3072

すばる薬局 〒903-0121

沖縄県西原町内間518-1

TEL 098-944-0920

FAX 098-944-1231

合同会社 康

名護中央薬局

業務執行役員

神山 えり子

Eriko Kamiyama

【城店】〒905-0013

沖縄県名護市城2-10-14

TEL.(0980) 52-5550

FAX.(0980) 43-6999

【大中店】〒906-0017

沖縄県名護市大中5-4-47

TEL.(0980) 52-7550

FAX.(0980) 52-7558

田辺製薬で3年間プロパーの仕事をし、その後、親の仕事を引き継ぎ30年間水道屋と不動産屋をやってきました。15年前から昭業の同級生大城朝徳君（レネットグループ・とくりんグループ代表者）の調剤薬局で働いています。肉体的にはきつくなりましたが精神的には楽になり、薬剤師の免許を取って良かったと思っています。住宅公庫の支払いがありますので、後8年はガンバロウと思っています。野球部出身。

美里 安敏 (D-26A 昭53年卒) 沖縄県浦添市

生涯現役!!

もちろんフルタイムではありません

次世代にバトンを継ぎ

週に2日だけの勤務で

細く長く歩んでおります。

神山 えり子 (旧姓山川) (D-26A 昭和53年卒)



昭和薬科大学附属高校50周年記念によせて

国吉 正道 (D-20B 昭和47年卒)

昭和48年2月雪深く厳寒の中、長野県の白樺湖の昭和薬科大学白樺校舎兼山荘でのことです。大学の長野現地入学試験があり、知人の娘に同行していた私の元に助手の木村和子さんが来て、理事長荻原光太郎先生が私と会いたいという事で理事長の室へ案内されました。室には物理学の林教授がおられ理事長が財布から2万円を出し長野の名産物馬刺しを買ってきてくれと頼み、その馬刺しを食べながら1.5～2時間程度話しがはずみました。

退室の際、理事長に「君の頼みをひとつだけ聞いてあげる」と言われ、私は即座に「昭和薬大附属高校に中学を併設し中高一貫教育の全国と競争できる英才教育をして欲しい」と要請しました。(他にもそのような要請は多くあったと思うが)理事長は「分かりました。全く同感です。」と即答して下さいまし

た。そして昭和61年、中学校が併設されその成果は着実に積み重ねられております。令和6年サンデー毎日4/28号医学部に強い高校ランキングによる同公立医学部合格者42名、防衛医大4名という素



晴らしい成績で全国15位でした。その事は学力最下位の沖縄県の教育レベルの向上に貢献し人材育成に繋がります。将来ノーベル賞受賞者が期待されます。

昭和薬科大学附属中学高校の先生方、生徒の皆さんたゆまぬ努力の先に無限の可能性があり道は開けると思います。人生の先輩として応援し続けます。

荻原理事長の英断と実行力に感謝申し上げます。

我が青春の薬理学教室

大城 喜一郎 (D-20B 昭和47年卒)

研究は、推理小説に似ているといわれます。というのは、主人公が事件の謎を解いていく過程と、研究者が未知の事実を明らかにしていく過程は、驚くほど似ているからです。推理小説の主人公は、手がかりを一つ一つ集め、そこから謎の真相を導き出します。この方法は、個々の事実を積み重ねて、真実を導き出すという帰納法に他なりません。これは、推理小説の謎解きの鉄則であり、研究の鉄則でもあります。一方で、主人公が仮説を立て、それを検証することで真相に迫るストーリーもあります。これは、一般的な原理や仮説から個々の事実を導き出していく演繹法に似ています。研究においても、この方法もまた研究を進める上で非常に有効です。

研究は、時に予想外の展開や意外な発見に遭遇する事があります。それは推理小説を読む時のあのワクワク感を与えてくれます。新たな手がかりを見つけた時の興奮や、仮説が実証された時の喜びは、研究者にとっての醍醐味ではないでしょうか。

さて、私が入学したのが1968(S43)年の4月でした。アポロ13号による月面着陸の1年前です。56年も前のことになります。沖縄を離れて3日後の夕方、希望と不安を胸に抱きつつ晴海埠頭に降り立ったことを今でも鮮明に思い出します。

私が、薬理学教室の門を叩いたのは、ひとえに心理学の楠木先生のおかげでした。その頃、世間では覚醒剤や幻覚作用のあるLSDがマスコミを騒がせていました。薬と心の関わりに興味を持ったからです。

1年間お世話になった寮を離れ、2年生になるとすぐに心理学の楠木先生を訪ねました。幻覚などの心理現象となると思いつくのは心理学ですから。先生は、私の目的を知ると、こう言いました。「残念だが君の期待に応えることはできない。だが、心の働きは、脳の機能の一分野になるので、君さえよければ、脳つまり中枢神経系に対する薬物の研究をしている薬理学の教授を紹介したいがどうだろう」と。

私は、薬理学が何たるかも知らないままに、夏休み明けから薬理学教室への出入りを許されることになりました。その当時、薬理学教室には鈴木教授と3名の助手がおられました。私は、実習のある日以外は、ほぼ毎日教室に通いました。当初は、助手の実験を観るだけでしたが、すぐに手伝わせてもらうようになりました。

薬理学教室には、附属施設として裏手に動物舎があり、ウサギやマウス(二十日ネズミ)などが飼育されていました。動物好きの私は、餌やりや排泄物の掃除などをよく手伝ったものです。当時の動物舎は、換気が十分ではなく、動物や排泄物の臭いでマスクは毛を吸い込まないための飾りでしかありませんでした。ただ夏などは、冷暖房付きということもあり、喜んで手伝った記憶があります。

さて、一年も経つと先生の研究を少しずつ手伝うようになりました。その当時、先生の主たる研究テーマが中枢神経系に及ぼす血糖の影響でしたので、頻繁に血糖値測定を行っていました。今のような便

利な測定機器ではなく、血液から遠心分離した血漿を試験管で試薬と反応させ、発色した濃度を分光計で測定するという極めてアナログ的な測定をしていました。その測定や一般薬理試験における動物実験など、貴重な経験をさせていただきました。今考えると、よくもまあ手伝わせてくれたなあ、と思うばかりです。

4年生になると、大学院が設置されたことで、薬理学教室にも3名の大学院生が入ってきました。大学院は、研究者を養成するところと聞いていました。もともと研究には興味があったので、院生から色々と情報を得ることができました。月一回のゼミにも参加させてもらいました。先生から渡された欧米の原書の論文を輪番に発表し、議論をするわけです。英語の苦手な私は、これにはかなり苦労しました。

当時の薬理学の実験は、ほぼ動物実験です。実験動物に被検薬を与え、その反応をみます。中枢神経作動薬の場合は全身の反応や脳波を、末梢神経作動薬は腸や筋肉に対する収縮反応というように。先輩たちの実験を見ているうちに、ますます薬理の研究に興味を持つようになりました。

四年も後期になると周囲が、就職の内定などで賑やかになってきます。進路を決める時期になったのです。私は、迷わず大学院に進むことにしました。

大学院での研究テーマは、先生から勧められたミョウガの薬理についてでした。薬味で知られるあのミョウガです。ミョウガには古くから鎮静効果のあることがいわれていました。それを検証しようというわけです。推理小説的にいうと、ミョウガには鎮静効果があるといわれているが、ほんとにあるのか。またあるとすればそれは、中枢作用か末梢作用かあるいは他の作用機序によるものか、を動物実験で検証することになります。

研究には、ミョウガの抽出液を濃縮し凍結乾燥したものを被検薬として使いました。それを生理食塩水に溶かし実験するわけです。中枢神経や末梢神経に対する実験は、十数項目に及びます。試行錯誤の実験が続きました。最も心が折れるのは、予想した結果が出ない時です。その時ほど、推理小説の主人公を羨ましく思ったことはありません。なにしろ主人公は、最後には必ず謎を解き明かすからです。現実には、そうはいきませんね。でも、今思うとそれも楽しい思い出です。

楽しい思い出としては、大学院一年生の時、教室全員で尾瀬ヶ原へ行ったことです。美しい景色や可憐な草花を見ていると、心が和みます。苦しい研究の合間の楽しい息抜きになりました。ボウリングも皆でよく行きました。

ミョウガの謎もほぼ解明し、「ミョウガの薬理的な研究について」として論文が仕上がりました。2月の卒論発表会を終えて、無事に卒業することができました。これも今は鬼籍に入られました鈴木幸子教授や助手の皆さん及び大学院の諸先輩や後輩の皆さんのおかげです。この場をお借りしまして感謝申し上げます。ありがとうございました。

最後に、研究する態度や姿勢は、どの専門分野でも活かせる重要なものです。探究心を持ち続けることが、新たな発見や進歩をもたらします。ぜひ、探究心を忘れずに、日々の学びや仕事に取り組んでください。研究の面白さや楽しさは、謎を解き明かすようなスリルと発見に満ちています。

昭和薬科大学附属高等学校が誕生した年に、私は大学院を卒業しました。今更ですが、50年の歳月が流れたことに驚いています。大学同窓生及び附属高等学校の発展と卒業生の皆様のご活躍を心よりお祈りいたします。

我が学生時代の思い出

大城 聰 (D-24B 昭和52年卒) 大東文化大学名誉教授 (医学博士)

この度、昭和薬科大学同窓会報に寄稿する機会を頂いたので半世紀振りに私の学生時代を振り返ります。私は那覇市にほど近い、大綱引きで有名な与那原町の生まれ。陸上競技を愛しながら医学部を目指した浪人時代、思い適わず家業の薬局を継ぐ為に本学にお世話になりました。

当時、本校は馬事公苑・国立衛生研究所・明治薬科大学等が周りにあり文教地区の一角にありました。大学の講義では、化学の故多賀教授・有機化学の板井元学長、数学の平田教授等から薬学基礎科目とは何たるかを教わりました。切磋琢磨した仲間には元青森県薬剤師会副会長S君、元昭葉大教授M君、元

横浜薬科大学教授F君、元製薬企業研究所研究員のN君とF君、都内調剤薬局経営オーナーI君等がおりました。

部活動は理論スポーツの卓球部に所属(写真I)し男子は医歯薬連で準々決勝、一方女子は薬学生チャンピオンを3人も輩出する強豪校でした。卒業後の部員はB先輩が都薬剤師会理事、H後輩が岐阜大学工学部元教授。また、T後輩は沖縄県薬剤師会理事で九州大会卓球60年代代表のシルバーアスリートとして活躍中。因みに私は九州マスターズ陸上競技大会と沖縄県同大会の跳躍種目・70代優勝者で、当時の部活仲間とは文武両道で健康寿命を延ばし合う人生

の良きライバルです。

卒業研究は、微生物化学研究所の主任研究員であった堀教授と元理事長・林教授の生化学研究室に通いました（卒業式記念写真Ⅱ）。本校は薬学教育に加えてアカデミックな雰囲気が漂うキャンパスでした。公衆衛生学研究室の故飯尾教授や義兄の友人で飛永研究室大学院生 K 先輩（元沖縄県昭薬大附属高校教頭）、邊見前同窓会長（米国国立衛生研究所 NIH 研究員の先輩で元東邦大学医学部教授）や田口現同窓会長（飛永元学長が取得したアルツハイマー病治療補助薬の特許に関する共同研究者で元昭薬大教授）などの諸先輩方からは暗黙の学問のすすめがありました。後輩達は挙って大学院修士課程・博士課程に進学し、現在も大学教授、理化学研究所や薬学系企業の研究者を多数輩出しています。

将来、科学者になる道を選んだ私は修士課程はノーベル賞受賞者が在籍する東京工業大学、博士課程は国内 COE・東京医科歯科大学へ進学（本年、両校は統合し東京科学大学を設立）。ポストク時代は日本学術振興会の奨励研究員として宇宙実



写真Ⅰ 部活仲間（卓球部）



卒業式記念写真Ⅱ 研究室仲間

薬品化学研究室の思い出

はいさい、ぐすーよー・ちゅー・うがなびら！

沖縄の方言であいさつしました。

私は、昭和 58 年（修士卒）の前原信照です。大学時代の一番の思い出は、やはり薬品化学研究室で過ごした 4 年間のことです。

研究室へ入ったのはひょんなことからでした。3 年次の春に薬品化学研究室主催の BBQ があり気軽な気持ちで参加、先生方や大学院の先輩方と談笑しながらお肉をいただきました。翌日にお礼がてら有機溶媒搬送のお手伝いし、研究室の案内と研究内容の紹介をされました。後で気づいたのですがあれは研究室へのお誘い（？）だったと思います。薬品化学研究室は佐野武先生を筆頭に戸田潤先生、堀口よしえ先生の下エリスリナルカロイドの合成研究に従事していました。

私に与えられた課題は大学院生の研究に使用する原材料の合成でした。それも大量に作らなければな



前原 信照 (D-29B 昭和56年卒)



らないので収量を上げるべく夜に反応を仕掛け、朝から抽出、結晶化して回収を行う。その都度実験ノートに結果と考察を記載し先生に報告しアドバイスを受けました。この習慣は社会人になっても大いに役立ちました。

戸田先生のマンツーマン講義はいつも研究室の床でした。大学は「垂直思考」探求心を養う場と考え

ていたので、定義から数式を全て導き出したことはわが意を得たと感じました。それから研究室に通うのが楽しくなるのを覚えています。

思い出に残っているのは、毎年夏開催の7大学の合同セミナーへの参加です。私達学部生は英語の文献を数週間前から和訳して発表に臨みました。先生方から質問責めに合い、答えきれず青息吐息の状況でした。発表前の緊張感と終わった後の解放感は今

でも思い出に残っています。

面白おかしく過ごしてきた1・2年生時代、3年生からみっちりしごかれた研究室。大学院の修士課程まで進み卒業論文を仕上げるため、土日もなく研究室で実験ばかりの日々を過ごしました。その後帰郷、病院薬剤師、調剤薬局と渡り歩きましたがその根底にあったのは研究室で過ごした4年間だったと感じています。

トライアスロン薬剤師 その2 ～環境に拘わって選択できる最適な職業～

牧野 星 (D-42Y 平成6年卒)

私は大学卒業後、製薬会社のMRとして勤務し48歳で早期退職。その後、東京で2年間調剤薬局で経験を重ね、2021年7月から沖縄県の宮古島に移住して県立病院の門前調剤薬局に勤務しています。宮古島に移住したのは、夢であった、年に一度ハワイ島で開催されるトライアスロンの世界最高峰レース「アイアンマン世界選手権 KONA」へ出場するためでした。KONAは世界各地で行われるアイアンマンの大会に出場し、年代別で上位に入った人だけが出場できる、トライアスリートにとって憧れの大会なのです。トレーニング環境が最適な宮古島で練習を重ね、移住後の2022年フィリピンで開催されたアイアンマンの大会で年代別優勝し、その夢を叶えることができました。

トライアスロンに夢中になってからの10年を振り返ると、環境に拘って選択し行動する事が、自己成長や目標達成にとても重要な要素であると感じたのです。この「環境に拘る」とは、新しいチャレンジや目標に向かって、なりたい自分に近づけるための最適な環境に身を置くという事です。仕事、住む場所はもちろん、仲間、コミュニティといった、誰と時間を過ごすかがとても大切であると感じています。

会社を早期退職した事で転職がなくなり、大学卒業以来、自分が生活したい場所に住み、働きたい場所で働く。こんな当たり前の事がようやく実現しました。そして、個人の信用や信頼の重要性に気付き、社会からの価値や求められる能力に目を向けるようになりました。

「コミュニティの環境」という点では、2018年にトライアスロン雑誌LUMINAのプロジェクト「KONAチャレンジ」に応募し、3か年計画で初出場を目指す12名に選ばれ、私自身の練習計画、トレーニング進捗状況や3ヶ月毎の施設測定データ、レース結果をWEB上や誌上で公開されるという環境に身を置く事になりました。期間中は、とてもプレッシャーでしたが、同じ目標を持つ人達に私の取り組

みや成功、失敗が「情報」として役に立っている喜びもありました。

この企画を通して、多くの方々に自分の存在を知ってもらう事となり、現在の

環境の財産となっています。周りに目標を宣言して取り組み、多くの仲間と一緒に成長を共有する事が、トライアスロンを楽しく継続し、自分も成長できる要素であると強く実感しました。しかし、KONA出場の権利獲得はそんなに簡単ではありません。韓国やオーストラリアの大会へ挑戦するも世界の壁を感じるレース結果で、3年間のKONAチャレンジ企画中に夢は叶えられませんでした。そんな中、コロナ禍となり東京での練習環境が厳しい状況が続いていました。このままでは夢は絶対叶わないと思い、何度も大会や合宿で足を運んでいた、トライアスロン環境に最適な宮古島に移住して成長してみようと決心したのです。トライアスロンはスイム、バイク、ランを続けて行いタイムを競う競技です。宮古島では、家のドアを開けたらすぐに近くの青い海でスイム、信号や車が少ない道を青い空の下でバイク、ランができます。以前よりも練習のボリュームや内容も充実し、こんな素晴らしい環境は日本中どこを探してもありません。そして毎週競技場やプールで行っている練習会にも積極的に参加し、島の仲間との交流を深めることができました。毎年4月に「全日本宮古島トライアスロン大会」が開催されます。参加者が抽選で決められるほど人気の大会なので、トライアスリートの中で宮古島の認知度はとても高く、一年中全国から練習や合宿に来島してきます。沢山



の方々から声を掛けていただき、一緒にトレーニングをする仲間や機会がどんどん増えていきました。更に、尊敬するコーチやトップレベルの選手達と過ごす貴重な時間も得られました。環境に拘り選択した事で、多くの方々と出会い、その結果、夢を叶える事ができたのです。こういった環境に拘る事ができたのも「薬剤師」という職業だからこそでした。

現在私は、県立病院（276床）の門前調剤薬局に勤務しています。薬剤師は2名。概ね病院から希望の薬局へFAXで処方箋を送り、ドライブスルーで受け取るという特徴的なシステムが確立されています。人口約5万人の島で調剤薬局は16軒。島の患者さんは、皆おおかたで殆ど急かされる事もなく、様々なニーズに対応する事に集中できる環境です。宮古島トライアスロン大会のレース中も、患者さんが私のナンバープレートや名前を書いたボードを持って応援してくれて、涙が出るほど嬉しい気持ちになりました。地元のテレビや新聞の反響もあり、終わってからも沢山の方々に声をかけてもらいました。

今の仕事の目標は、患者さんが薬局に来る前に想像している期待を上回る事です。そしてその患者さんが、次に処方箋を手にした時、この薬局、この薬剤師からまた薬を受け取りたいと思ってもらう事を目的にしています。

かなり年齢を重ねてからですが、薬剤師になって良かったと心から思っています。毎日何十人もの方に「ありがとう」と言ってもらえ、自分の住みたい場所で、やりがいのある仕事の環境に巡り会えました。物や人の価値は、人から求められる数で決まります。いくら優秀であっても、知識があっても、スピードがあっても、求められる存在となって初めて価値が高まります。移住して3年。処方箋を手にした時

に「牧野から薬を受け取りたい」と思ってくれる島の人は100人以上いると自負しています（笑）。今後の目標は、あと2年で200人以上。離島に来て仕事の本質に気付くことが出来ました。やりたい事が見つからない時は、自分の感情にフォーカスすると見えてきます。先ず行動に移し、ワクワクする気持ちや自然に溢れ出る笑顔、自由感や貢献感、ここにもいいという所属感が得られるかどうかです。これは環境に拘り選択する上で、とても重要な要素でした。どんな場面でも「私の人生を豊かにするため」という目的を意識しながら自分に正直に選択すると、間違いなく日々の満足度を上げる事ができます。心豊かに生活できるようになると、自分に余裕ができ、他人にもいい影響を与える事ができるようになったと感じています。そして都会に比べて物が手に入りにくい不便な環境にいるからこそ、日常の些細な事にも感謝の気持ちで溢れるようになりました。

人の価値観は体験や経験によってのみ変化するもの。「今日も自分のための人生を過ごそう」宮古島に移住してから、毎朝の自分への挨拶です。



沖縄県宮古島 オリーブ薬局病院前店

能登半島地震災害のお見舞いについてのご報告

昭薬同窓会では2月と5月に令和6年能登半島地震による被害状況調査を行い、被災された石川県支部、富山県支部、福井県支部、新潟県支部の会員124名に被害状況のアンケートをお送りしました。アンケート調査の結果、64名の方よりご回答をいただき、13名の方に一部損壊・半壊などの被害があり、その内1名の同窓生が亡くなられたことが報告されました。この結果を受けて同窓会では7月29日に自然災害見舞金規程に基づき被害に遭われた同窓生13名の皆様へ災害寄付金基金からお見舞金をお送りしました。

被災された皆様が1日も早く安心して生活出来る環境となることを心よりお祈りしております。

昭薬同窓会 代表理事 田口 恭治

自然災害の被害を受けられた方・ご存知の方へ 一情報提供のお願いー

昭薬同窓会には震災や豪雨などの自然災害で被害を受けた同窓生に対する見舞金制度があります。自然災害の被害を受けられた方・被災された同窓生をご存知の方は、同窓会事務局へ情報提供(電話・fax・e-mail)をお願いします。

神奈川県薬剤師会の紹介



私は昭和54年4月に昭和薬科大学に入学しました。在学中は部活、麻雀、パチンコの合間に大学に通うという、いわゆる不真面目な学生でしたが、多くの友人や先生方に助けられ、昭和58年3月に無事卒業し、その年の春に国家試験に合格しました。

卒業後は薬剤師として薬局に就職し、以後一貫して薬局薬剤師として勤務し、現在は経営者として薬局を運営しています。また、令和3年6月からは公益社団法人神奈川県薬剤師会会長となり、現在二期目を務めております。今回はこの場をお借りして、神奈川県薬剤師会について紹介させていただきます。

神奈川県薬剤師会は設立から130年以上の歴史がある薬剤師の団体で、現在の会員数は約3800名（令和6年3月末）です。本会は公益社団法人として地域医療の一翼を担い、県民の健康増進、福祉、保健衛生の向上に寄与することを目的として精力的に活動しています。

その中で、本会は2つの事業を事業の大柱と位置づけ、活動しています。一つは「くすりと健康相談薬局」、もう一つは「生涯学習認定制度」です。

「くすりと健康相談薬局」は、医薬分業の下で進められてきた「かかりつけ薬剤師・薬局」の定着に加え、薬局に求められる役割・機能を備えて県民へ貢献している薬局を認定制度化したものです。

小川 護（D-31B 昭和58年卒）神奈川県薬剤師会会長

この認定制度は国や他県に先駆けた取り組みであり、この認定拡大を推進しています。

もう一つの「生涯学習認定制度」は、本会が整えた研修認定制度です。薬剤師が国民・市民の期待に応えるためには、生涯を通じて自らの資質を高めるための研鑽を続けなくてはなりません。これを支援するため、本会は公益社団法人薬剤師認定制度認証機構から認証（G21）を受け、公的にも通用する制度を整備しました。薬剤師の研修認定制度は多々ありますが、本会の制度は倫理研修や地域活動を必須とするなどの特徴を有しています。

これら2つの事業を通して、薬局・薬剤師がどのようなことでも相談できる身近な場所であり、頼れる医療従事者であることを地域社会に広くアピールしています。

この他、本会では「医療・介護保険」、「公衆衛生・学薬」、「地域保健」、「リスクマネジメント」など多くの委員会を設置し、広範囲かつ多様な活動を展開しており、多くの成果を上げています。今後も「先進・先取り」の気概を持って、さらに精力的に活動を展開してまいります。

このように特色ある取り組みを通じて、本会がこれまで築き上げてきた実績を礎に、会員が総力を挙げて、薬剤師・薬局が直面する新たな課題に的確かつ迅速に対応するとともに、これからも地域社会に貢献できるよう公益社団法人として使命を果たしてまいりますので、皆様のご支援、ご協力を引き続き賜りますようお願いいたします。

クラス会便り

D-11B クラス会

日時：令和6年3月3日12:00～15:00

場所：有楽町 綴（駅傍、徒歩3分）

岡部 剛一（昭和38年卒）

今回のクラス会は皆が待ちに待ったクラス会となった。2018年クラス会に於いて、次回は傘寿を迎える3年後の開催を約していたところ、コロナ騒動にて開催を延期し、以後企画の度に、コロナ3波～7波によって再延期を余儀なくされ、2024年に6年越しの開催となった。歳月が過ぎる間に元気であった仲間も、足腰が弱り、遠出をするのは控えるようになり、東京に出て行くのも大儀であ



るとの声が多く聞かれるようになりました。それ故、会場は駅傍3分の会場を選び、ゆっくりと歓談することにいたしました。皆一様に、今回が最後のクラ

ス会になるかもね？と言いつつ、元気を振り絞って出席された方々は22名となり、懐かしい顔（貴方は…誰？旧姓は？の声も聞かれましたが）を合わせる事が出来て、皆大いに喜び、楽しいひと時を過ごしました。幹事としては30名の参加者を目指して勧誘を進めたが、体調を崩されている方の多いことに驚かされ、80代を迎えての体調管理がいかに大切かを考えさせられた。（2018年の名簿作成時にご逝去された方は16名でしたが、2024年3月時点でのご逝去された方は28名でした。）また、開催日が覚えやすいようにと、なんとなく選んだ3月3日は東京マラソン開催日と重なり、駅から会場までの道路が交通規制となり、案内通りには会場に来る事が出来ず、警察官の指示により、地下への長い階段を下り、地下道を通り、目的の地上出口に長い階段を上る、という大変体力を使い、足腰に負担をかける事態となってしまう、忘れられない思い出ともなりました。（ランナー並みに体力を消耗しましたが、会場に着けた達成感を感じてもらいました）。

会は初めに、ご逝去された方のご冥福をお祈りして黙祷を行い、その後出席者一同の健康を祈念して乾杯、会食をしながら、近況報告やこれからの余生

をいかに過ごすか、などの抱負を語り合いつつ懇談の後、校歌を合唱し、6年の歳月にご逝去された方々を追悼し、“千の風になって”を合唱、級友の水谷さんが生前に作詞した、“アンジェラスの鐘”の作曲を手掛けた佐伯さんが、思い出の歌を披露、久々にクラス会に出席された田村さんが、コーラス部での思い出の歌“白薔薇の匂う夕べは”を歌唱し、衰えぬ美しい声を聴かせてくれました。また、今年1月25日に急逝された灰原さんが興味を示し、これから始めようかしらといていた「詩吟」を、吟道歴20年の真野さんが、彼女の死を悼み吟詠を捧げました。最後に皆で“今日の日はさようなら”を合唱して、また逢う日までを約束しました。閉会に当たってD11-Bの同窓会担当をお願いしている宮崎さんより、大学と同窓会が協力し合って行くためにも、さらに同窓会への意識を強く持ってくださいというお話があり、今回は最後かもね？という声もどこへやら、また集まろうという雰囲気の中、はて…幹事は誰が？といったところで、“楽しかったね”の声を残して三々五々帰路につきました。

また折を見て元気のある人この指とまれ…をやることになるでしょう！

D-18B クラス会

日時：2024年5月12日（日）11時30分集合

場所：月亭 町田店

城所 洋子（昭和45年卒）

5月12日にD18Bのクラス会を計画しました。コロナ禍の後、初めての会だったので参加者が多いと思っていたら、85枚ハガキを出して参加者なんと7名！

そして女子のみ！
20名で予約して
あったのに…

7名の女子会で
大学時代に戻り、
楽しい時間を過ご
しました。



D-29AB 合同クラス会

日時：2024年3月3日12:00～14:30

場所：渋谷エクセルホテル東急

佐々木 雅弘（D-29A 昭和56年卒）

新型コロナの感染分類が2類から5類に移行したことで、延期になっていたクラス会を5年半ぶりに開催しました。

コロナ後で、宴会需要が高く土曜日の予約ができなかったにもかかわらず、沖縄、島根等、遠方の方々を含め55名の方に参加いただきました。

今回は、コース料理のため、しばらくは席の移動もなく、和やかに食事、おしゃべりを楽しみ、後半は写真を撮りあったりして、盛り上がっていました。

最後の写真撮影の前に、一番懸念していた時期幹



事の選出方法でした。島根、沖縄等が上がりましたが、静岡の渡邊氏から手が上がり、満場一致で決定しました。最後に集合写真を撮影して、次期同窓会での再会を約束して、おひらきとなりました。

大場 玲子 氏が 藍綬褒章 を受賞されました。

令和5年春の褒章で大場玲子氏（D17A 昭和44年卒）が藍綬褒章（社会福祉功績）を受章されました。

阿久津 七光 氏が 瑞宝双光章 を受賞されました。

令和5年秋の褒章で阿久津七光氏（D-18B クラス代表 昭和45年卒）が瑞宝双光章（学校保健功労）を受章されました。

心よりお祝いを申し上げます。

告示

2025年3月1日

一般社団法人昭葉同窓会 代表理事 田口恭治

会員各位

理事及び監事の選出並びに立候補の届出等の受付に関する告示

「一般社団法人昭葉同窓会定款」及び「一般社団法人昭葉同窓会理事及び監事選出要綱」に則り、下記のとおり、2025年6月15日から2027年6月20日までを任期とする理事23名及び監事2名の選出の告示をいたします。

記

- 1 理事及び監事の選出は、2025年6月15日（日）に開催される第14回社員総会において理事・監事選考委員会における選考結果を報告し、承認を得ます。
- 2 理事及び監事の被選出資格は2025年3月1日までに2024年度の会費を納入している会員とします。
- 3 立候補しようとする会員は、立候補届出書（様式第1号）及び趣意書（様式第2号）を添えて届け出てください。
- 4 立候補の届け出に必用な書類の様式は定まっております。届出関係書類一式及び関係諸規定は、事務局にご請求ください。
- 5 立候補の届け出の受付期間は、2025年3月1日から3月31日までとし、3月31日消印は有効とします。一般社団法人昭葉同窓会選考委員会宛の書留郵便で受け付けます。
- 6 その他、立候補に関するお問い合わせは、事務局にお願いいたします。

宛先 一般社団法人昭葉同窓会選考委員会

〒194-0042 町田市東玉川学園3-2-2 昭葉会館5階 一般社団法人昭葉同窓会 事務局 042-722-5750

*関係書類はホームページからもダウンロードできます。

第13回 一般社団法人昭葉同窓会社員総会報告

第13回一般社団法人昭葉同窓会社員総会は昨年同様遠隔会議を中心に書類審議並びに対面会議を併用した形で開催することを4月7日（日）の理事会において決定し、下記の手順に基づいて出席社員と議案賛否数の確認により各議事の賛否承認を行った。

- | | |
|--------------------------------|-----------------|
| 1. 社員総会資料の送付（通常通り：事務局→社員全員） | 5月8日（水） |
| 2. 報告審議事項の確認及び質問書提出（社員→事務局） | 5月24日（金）必着 |
| 3. 質問や意見の集約と質問への回答審議（理事会） | 5月25日（土）～26日（日） |
| 4. 質問書への回答及び追加資料等の送付（事務局→社員全員） | 5月30日（木） |
| 5. 議案についての賛否返送（社員→事務局） | 6月10日（月）必着 |
| 6. 社員総会（出席は役員および議事運営委員長） | 6月16日（日）13：00～ |
| ・各社員の議案賛否数の確認 | ・議事の承認 |

日 時：令和6年6月16日（日）13：00～15：30 場 所：昭葉会館5階会議室

出席者：理事 田口恭治、高田公彦、馬場孝道、小川洋子、長田哲治、小野寺敏、神戸敏江、嶋田直樹、島袋幸昭、豊川夕姫、逸見仁道、前田順一

監事 今泉真知子、村上純子 議事運営委員長 野崎芳雄（D-17Aクラス社員）

社員 出席者 神奈川北相支部：高取亨（D-14A）、D-12Bクラス：鈴木ますみ、D-29Aクラス：平川心一郎

WEB参加者 青森支部：齋藤士郎（D-24B）、香川県支部：安西英明（D-23A）

傍聴会員 田中明子（D-40S）会員

（敬称略）

議 長：田口恭治（一般社団法人昭葉同窓会代表理事） 書 記：今泉真知子（監事）、島袋幸昭（理事）

社員総数：101名（支部選出社員43名、クラス選出社員40名、部活クラブ3名、社員役員15名）

・当日出席社員数：18名（支部社員1名、クラス社員3名、理事12名、監事2名） ・WEB参加者数：2名（支部社員2名）

・議案賛否返送数：36名（支部社員18名、クラス社員15名、部活クラブ社員2名、理事1名）

・委任状：6名（支部社員3名、クラス社員3名）

・社員以外の出席者1名（理事監事選考委員）

開会の辞：高田公彦 副会長

高田公彦副会長はインターネットを利用したWEB会議出席者の映像と音声と同時に他の出席者に伝わり、出席者が一堂に会すると同等に適時的確な意見表明が相互に可能となっていることを確認したあと、2023年社員総会以降、逝去が判明した方々（70名）のご冥福をお祈りし黙禱捧げた。続いて、2024年度から社員となった津川壮士社員（埼玉県支部）、星野高志社員（神奈川県横浜支部）、牟田洋社員（長崎県支部）、渡辺和範社員（愛媛県支部）、中野裕次社員（D-20Aクラス）

の新社員の紹介を行い、定数確認の結果、社員総数101名の内、出席者数18名、WEB参加者数2名、議案賛否票数36名、委任状6名、本日の議決権の数は合計62個で定款第22条の規定により、総会は開催が成立していることを報告し総会開会宣言を行い議事進行に移った。

田口恭治 代表理事挨拶

皆さまこんにちは、本日は梅雨に先駆けて夏が来たような暑い日ですが第13回社員総会にご出席頂き有難うございます。本日は資料の議事日程にそって、報告第1号令和5年度会

務事業報告、議案第1号令和5年度一般会計決算報告及び監査報告、第2号議案令和6年度会務事業報告案、第3号議案令和6年度一般会計予算案について審議を進めていきますので先生方積極的に議論に参加して頂きたいと思います。

議長：田口恭治代表理事

書記に今泉眞知子（監事）、島袋幸昭（理事）を任命し、野崎芳雄議事運営委員長が議事日程について説明を行った。

議事日程進行の説明：野崎芳雄 議事運営委員長

総会に先立ち議事運営委員会を開き、本日の総会の議事進行について審議した。総会の審議事項については事前にメールで委員会の同意を得ているので、議事日程は第13回社員総会資料1頁の議事日程を一部修正して、議案第1号の審議開始時間14時15分を14時に変更、議案第1号採決後、10分間の休憩を取り、14時30分から議案第2号の審議を開始、15時から議案第3号の審議を開始していく事とした。議事進行については日程の変更に沿って進めて頂きたい。時間については審議内容に合わせて随時変更し、時間内終わらせるようご協力をお願いします。

報告第1号 令和5年度会務事業報告

議長が報告第1号、令和5年度（令和5年4月1日から令和6年3月31日まで）の会務事業報告について資料に基づき説明した。

報告第1号に関する質疑、提案、意見等についてなし。
報告第1号 令和5年度の会務事業報告は賛成多数で承認された。

議案第1号 令和5年度一般会計決算報告

議長が議案第1号、令和5年度の一般会計決算報告について説明し、令和5年度監査報告については村上純子監事が令和5年4月1日から令和6年3月31日までの会計監査及び理事の職務などについて調査し、会計については、会計処理、銀行通帳及びこれに関する資料について調査した。また、理事の職務については、理事会に直接参加し直接観察した。以上の結果から、定款に違反する事実は認められず、いずれも適正に運用されている事が認められたと報告された。

議案第1号及び令和5年度監査報告に関する質疑、提案、意見等について

【質問】神奈川北相支部 高取亨社員 この度の能登地方地震で被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。地震被害報告が3月末日までに8件報告されているが、災害基金からは支出されていない。見舞金は早急送って頂きたい。

い。また、災害見舞金の改定（増額）の考えはありますか。

【回答】田口恭治会長 能登半島地震の被災調査については能登地域を除いた石川県、福井県、富山県、新潟県の会員を対象に2024年2月21日～3月30日の間に行い、能登地域の会員について現在、調査を行っている。支援金については4月の理事会で承認を得ているので、事務局長が対応して7月には被災された同窓生に災害金を郵送する予定である。また、災害見舞金の改定（増額）に関しては今後、理事会で審議して頂き同窓会として増額を含めてできることを行なっていきたいと考えているのでご了承ください。
議案第1号 令和5年度一般会計決算報告及び監査報告は賛成多数で可決承認された。

議案第2号 令和6年度会務事業計画（案）

議長が議案第2号 令和6年度会務事業計画について資料に基づき説明した。

議案第2号に関する質疑、提案、意見等について

【質問】香川県支部 安西英明社員 同窓会会報への広告掲載についてはどの程度の効果があるのかわからないので依頼をしていないが、広告の内容は保健薬局を対象としているのか。

【回答】田口恭治会長 名刺サイズの広告については会費納入者を無料としている。広告内容は保健薬局に限らず趣味やサークル活動等含めて名刺の掲載でも良いので自己ペースに活用してください。

【要望】D-29Aクラス 平川心一郎社員 3月に開催したクラス会で会費振込み用紙を配布し壇上で会費納入の訴えをしたので前年度に比べて納入者が増えている。私は製薬会社を定年退職後、調剤薬局に勤務しているが定年後、勤務先を探すのに苦労した。同じ薬剤師でも製薬会社と調剤薬局とでは業務の内容が違うので求人の方の斡旋や研修薬局の紹介など情報を同窓会が提供して頂ければと思う。

【回答】田口恭治会長 卒業生の研修を受け入れる保健薬局はあるので要望があれば紹介します。就職希望者や研修希望者の情報収集は行っていきます。
議案第2号 令和6年度会務事業計画（案）は賛成多数で可決承認された。

議案第3号 令和6年度一般会計予算（案）

議長が議案第3号 令和6年度一般会計予算（案）について資料に基づき提案、高田公彦副会長（会計部長）が歳入の部

2024年 社員名簿

2024年4月現在

支部選出社員				クラス選出社員			
No	支部	社員		No	クラス名	社員	
1	北海道道央	渡辺 良樹	D-24B	44	S-11	根津とよ子	
2	青 森	齋藤 士郎	D-24B	45	S-15	藤田 惇江	
3	秋 田	三浦 敦子	D-25A	46	S-20	須藤 京子	
4	岩 手	宮 良男	D-24A	47	D-1	丸山 貞子	
5	宮 城	佐藤 英之	D-50Y	48	D-5A	福室 憲治	
6	山 形	松田 慎一	D-18A	49	D-5B	黒田 和子	
7	福 島	関 孝一	D-18B	50	D-6A	木嶋 敬二	
8	茨 城	青山 芳文	D-36B	51	D-7B	山内 亮子	
9	栃 木	鹿村 恵明	D-36A	52	D-11A	吉見 力	
10	群 馬	田中 由一	D-17A	53	D-11B	宮崎 安弘	
11	埼 玉	津川 壮士	D-43Y	54	D-12A	山本 剛	
12	千 葉	加藤 正博	D-14B	55	D-12B	鈴木ますみ	
13	神 奈 川 東	小澤 博	D-1	56	D-13A	松井 宏之	
14	川 崎	白井 博	D-21A	57	D-13B	服部 脩	
15	横 浜	星野 高志	D-37B	58	D-14A	森田 嘉治	
16	湘 南	木下 泰男	D-24B	59	D-14B	中川 明子	
17	北 相	高取 享	D-14A	60	D-15B	花村 勝信	
18	西 湘	原田 哲夫	D-23A	61	D-16A	高田 一義	
19	城 南	佐藤ひとみ	D-30B	62	D-16B	小岩井敏子	
20	城 北	吉田 定	D-16	63	D-17A	野崎 芳雄	
21	多 摩	大西 義雄	D-14B				
22	多 摩 南	炭谷 敦子	D-29A				
No	支部	社員		No	クラス名	社員	
23	新 潟	曽我 睦巳	D-12B	64	D-17B	渡辺 陸子	
24	富山・石川	滝尻 茂晴	D-37A	65	D-18B	阿久津七光	
25	福 井	小林 広幸	D-34B	66	D-19A	藤田 義人	
26	長 野	大熊 哲汪	D-17A	67	D-20A	中野 裕次	
27	山 梨	浅川 力三	D-22A	68	D-20B	小池 盛明	
28	静 岡	鈴木 典之	D-24B	69	D-21A	大石 博	
29	愛 知	伊藤 裕至	D-29B	70	D-22B	大石 重和	
30	近 畿	堤 亮一	D-33B	71	D-24A	室伏 昭	
31	京都・滋賀	岡田 正哉	D-34B	72	D-26B	加藤 久幸	
32	岡 山	小山 敏章	D-32A	73	D-28B	山崎 政男	
33	広 島	吉田 稔	D-6B	74	D-29A	平川心一郎	
34	山 口	末廣 隆	D-31A	75	D-29B	川神 裕司	
35	香 川	安西 英明	D-23A	76	D-30B	後藤 知良	
36	愛 媛	渡辺 和範	D-22B	77	D-31B	浦山 剛	
37	高 知	堀岡 宏稔	D-31A	78	D-32A	小池 猛	
38	佐 賀	藤戸 博	D-23B	79	D-33A	杉本 昭久	
39	長 崎	牟田 洋	D-24B	80	D-33B	山崎 勝久	
40	大 分	測 祐一	D-22A	81	D-36B	篠山 宏	
41	熊 本	大川 正晃	D-32B	82	D-43S	前田 善子	
42	鹿 児 島	坂元 成行	D-25A	83	D-44Y	佐久間真一	
43	宮 崎	大西 直	D-27A				

部活選出社員	
84 合唱部	吉本 文男 (D-26A)
85 バレー部	黒下 龍二 (D-41Y)
86 裏千家茶道部	竹花富美子 (D-33B)

(敬称 略) 太字は新社員

理事及び監事			
87	D-22B	田口 恭治	
88	D-28B	高田 公彦	
89	D-23B	馬場 孝道	
90	D-12B	小川 洋子	
91	D-52S	長田 哲治	
92	D-24B	小野寺 敏	
93	D-36B	神戸 敏江	
94	D-35B	嶋田 直樹	
95	D-20B	島袋 幸昭	
96	D-36B	鈴木 秀樹	
97	D-31A	豊川 夕姫	
98	D-22B	逸見 仁道	
99	D-35B	前田 順一	
100	D-20B	今泉眞知子	
101	D-18B	村上 純子	

は例年、会費納入額、寄付金額については目標額としての予算立てをしてきたが、今年度は実態に合わせた予算とした。歳出の部については同窓会会報をこれまで3000部発行してきたが、会費納入者は約1000名で約2000部が会費未納者に配布されているので発行部数を削減する等節約する予算としたと補足説明があった。

議案第3号に関する質疑、提案、意見等について

【提案等】青森支部 齋藤士郎社員 会員の中には同窓生同士が結婚している人が多い。一家に2部会報が送られてくるが、送付を1部にすれば節約になると思うので検討して頂きたい。会報は同窓生に対する情報提供であるので有効に活用して頂きたい。(香川県支部：安西英明社員)、すぐ実行できること事なのですぐやって頂きたい。(D-29Aクラス 平川心一郎社員)、郵送料を安い業者にすることも検討して頂きたい。(D-17Aクラス 野崎芳雄社員)等と賛同する提案があった。

【回答】田口恭治会長 貴重なご意見ありがとうございます。事務局と相談してご夫婦には1部送付したいと思います。同窓会の貴重な会費は有効活用していきます。

【意見】神奈川北相支部 高取亨社員、D-17Aクラス 野崎芳雄社員 昨年度までの予算案は現実からかけ離れた予算案であったが、今年度の予算案は現実に沿った良い予算案であり賛成する。

議案第3号 令和6年度一般会計予算(案)は賛成多数で可決承認された。

以上をもって議事が終了したので、議長は閉会を宣し降壇した。閉会の辞：高田公彦副会長

インターネットを利用したWEB会議システムは終始異変なく、高田公彦副会長が大変有意義なご意見有難うございました。これで第13回社員総会を終了しますと閉会の辞を述べ閉会した。

議案第1号

令和5年度一般会計決算

(1) 歳入の部

(単位：円)

科 目	令和5年度 予算	令和5年度 決算	増 減	備 考 (括弧内は実績)
同 窓 会 費	4,500,000	2,853,000	1,647,000	納入者数 (951名)
雑 収 入				
貯 金 利 息	200	11	189	
広 告 料	50,000	0	50,000	
寄 付 金 等	3,000,000	976,312	2,023,688	一般寄付金、運営協力金
そ の 他	50,000	0	50,000	
平 成 塾				
通 信 講 座	600,000	439,848	160,152	受講者
講 演 会 等	170,000	180,100	-10,100	
積 立 金 より 繰 入	-	1,000,000	-1,000,000	横浜銀行定期預金解約
前 年 度 繰 越 金	1,806,603	1,806,603	0	
収 入 合 計	10,176,803	7,255,874	2,920,929	

(2) 歳出の部

(単位：円)

科 目	令和5年度 予算	令和5年度 決算	増 減	備 考
会 議 費				
代議員会・総会	500,000	147,427	352,573	
理事会・部会	506,000	439,802	66,198	
小 計	1,006,000	587,229	418,771	
事 業 費				
広報				
会報	1,100,000	4,452,534	-352,534	会報送料等含む
HP管理料	660,220	605,000	55,220	HP管理料変更なし
小計	1,760,220	2,057,534	-297,314	
学術				
平成塾	700,000	731,667	-31,667	会場費・講演料・交通費
その他	240,000	5,590	234,410	調査料
小計	940,000	737,257	202,743	
渉 外 関 連 費	50,000	3,240	46,760	
記念事業関連費	-	0	0	
小 計	2,750,220	2,798,031	-47,811	
事 務 費				
慶 弔 費	40,000	52,789	-12,789	
人 件 費	2,000,000	1,531,834	468,166	事務局員給与
通 信 費	150,000	230,915	-80,915	電話／FAX・郵便代
諸 経 費	550,000	337,364	212,636	
O A 関 連 費	50,000	24,142	25,858	パソコン関連
小 計	2,790,000	2,177,044	612,956	
活 動 費				
支部会関連費	200,000	311,156	-111,156	支部会参加費・懇親会費
各種助成金	400,000	361,077	38,923	支部会・クラス会等助成
小 計	600,000	672,233	-72,233	
予 備 費	10,000	0	10,000	
小 計	10,000	0	10,000	
支 出 合 計	7,156,220	6,234,537	921,683	
繰 越 金	1,806,603	1,021,337	785,266	
支 出 総 合 計	8,962,823	7,255,874	1,706,949	

令和5年度 災害基金決算

(1) 歳入の部

科 目	令和5年度決算額	備考
前 年 度 繰 越 金	1,594,971	
災 害 寄 付 金	369,000	
利 息	15	
収 入 合 計	1,963,986	

(2) 歳出の部

科 目	令和5年度決算額	備考
見 舞 金	0	
見 舞 状 作 成 ・ 送 付	0	
繰 越 金	1,963,986	
支 出 合 計	1,963,986	

同窓会財産目録

令和6年3月31日現在

科 目			令和5年3月31日現在	令和6年3月31日現在
流動資金	現金		156,904	74,278
	みずほ銀行	普通	14,883	280,915
	横浜銀行	普通	1,040,382	143,096
	郵便局会費振込み口座	普通	406,097	4,523
	郵便局平成塾振込み口座	普通	40,049	270,578
	ゆうちょ銀行	普通	148,288	247,947
	小 計		1,806,603	1,021,337

積 立 金	横浜銀行	定期	5,213,179	4,213,208
	みずほ銀行	定期	16,296,172	16,296,172
	三菱UFJ信託銀行	普通	468,270	469,121
	三菱UFJ信託銀行	定期	10,000,000	10,000,000
	小 計		31,977,621	30,978,501

特別会計	りそな銀行 災害基金	普通	1,594,971	1,963,986
特別会計	奨学金基金	普通	1,439,012	1,439,012

同 窓 会 財 産 合 計	36,818,207	35,402,836
---------------	------------	------------

議案第1号

一般社団法人 昭葉同窓会

代表理事 田口恭治 殿

監 査 報 告 書

私たち監事は、令和5年4月1日から令和6年3月31日までの会計監査及び理事の職務などについて検討した。

会計については、会計処理、銀行通帳及びこれに関する資料の調査をした。また、会の運営については、理事会に参加し理事の職務等を直接観察した。

以上の結果から、定款に違反する事実は認められず、いずれも適正に運用されていることが認められた。

令和6年4月11日

監事 今泉真知子

監事 村上 純子

(押印省略)

議案第2号 令和6年度会務事業計画(案)

【総務部】

1. 同窓会名簿の管理と住所判明率の向上

新卒者及び住所未定者の住所(連絡先)の判明を図り、住所確定率の向上を図る。

住所未定会員の調査及び会費未納会員にクラス代表と協力し依頼状を送付する。

2. 大学の行事及び同窓会関連行事の収集・伝達

大学関連の行事を通じて大学関係者や在校生との関わり、信頼関係を築いていく。

3. 同窓会活動の情報提供

社員総会や理事会の議事録作成等をはじめ。支部会・クラス会、その他、必要事項の伝達(HP掲載)や情報提供を行い、同窓会活動を円滑に進める。

4. 社員未選出のクラス、支部、部活クラブ社員の選出

【活動方針】

(1) クラス社員の選出

① 理事・監事のクラスで社員未選出クラスは該当、理事・監事が推薦する。

② 支部社員のクラスで社員の未選出クラスは該当、支部社員が推薦する。

(2) 支部社員の選出

① 社員未選出の支部は、理事、監事、クラス社員、部活クラブ社員が推薦する。

(3) 部活クラブ社員の選出

① 社員がいない部活クラブは理事、監事、クラス社員が所属していた部活クラブについて推薦する。

【学術部】

【基本方針】

地域医療を担う薬剤師を対象として、学術ならびに行政や社会

の医療ニーズにあわせた情報をWeb等で発信することにより、同窓生等の生涯学修を支援する。具体的には平成塾運営委員会を中心に企画立案を行い、平成塾通信講座、スクーリングを年2回と薬剤師業務支援講座を年4-5回開催し、薬剤師生涯研修プロバイダー(G12)として活動する。更に支部会と連携しながら支部での研修会開催を働きかける。また、DX対応の一環として研修履歴の電子化を進め、今年度の早い時期に開始する。

【活動方針】

1. 平成塾通信講座

今年度の平成塾通信講座のテーマ

1) 中枢神経系、精神系の疾患と治療薬

①統合失調症・神経症の病態生理と治療薬

②認知症・脳血管疾患の病態生理と治療薬

③パーキンソン症候群・てんかん・重症筋無力症の病態生理と治療薬

④うつ病・睡眠障害・不安障害の病態生理と治療薬

2) 代謝・内分泌系及び骨の疾患と治療薬

⑤糖尿病の病態生理と治療薬

⑥脂質異常症・高尿酸血症・通風の病態生理と治療薬

⑦甲状腺機能障害・副腎機能障害の病態生理と治療薬

⑧骨・関節と電解質代謝異常・アシドーシス・アルカローシスの病態生理と治療薬

2. 平成塾通信講座スクーリングのテーマと開催日

1) 第31回平成塾通信講座スクーリング

神経・筋疾患と神経疾患の薬物療法 2024年9月29日(日)

2) 第32回平成塾通信講座スクーリング

代謝系疾患及び骨の疾患と薬物療法 2025年2月16日(日)

3. 平成塾薬剤師業務支援講座の開催日

(日程および演題は変更される可能性あり)

1) 薬剤師業務支援講座 1

・開催日 2024年5月19日(日) 13時～14時30分

・演題 「地域で取り組む感染対策～薬剤師にできること、求められること～」

・講師 医療法人財団 荻窪病院 薬剤科 松島菜々先生

2) 薬剤師業務支援講座 2

・開催日 2024年7月21日(日) 13時～14時30分

・演題 「在宅・介護への薬剤師の関わり(仮)」

・講師 (有)匠寿堂 星野 高志先生

3) 薬剤師業務支援講座 3

「血液がん」(演者未定) 2024年 10月20日(日)

4) 薬剤師業務支援講座 4

・開催日 2024年11月17日(日) 13時～14時30分

・演題 「免疫チェックポイント阻害薬の作用を理解するための基礎知識(仮)」

・講師 東邦大学医学部免疫学教室准教授 桑原 卓先生

【組織部】

1. 会費納入者の拡大像

会費納入会員増を目指して、理事・各支部及びクラス選出社員が連携して、クラス・支部会員、友人、知人また職場での同窓生への会費納入の働きかけをする。

2. 支部会・クラス会活動の活性化

1) 休眠支部の支部開催を支援する。

2) クラス会の積極的開催を支援する。

特に還暦前後の年齢層を主に呼びかけを行う。

3) 部活クラブ会の開催支援と呼掛けの強化をする。

ホームページの各クラブのOB OG会便りで各クラブの情報発信し活性化させる。

3. 第57回日本薬剤師会学術大会における活動

・開催日程 2024年9月22日(日)～23日(月・祝)

・開催場所 大宮ソニックシティ、さいたまスーパーアリーナ、パレスホテル大宮

・学術大会に出席する同窓生の懇親会を催し、親睦をはかる。

日時: 2024年9月22日(日) 18時～20時

会場: 「SQUARE スクエア」さいたま市大宮区桜木町4丁目333-13 OLSビル1F

4. 第83回九州山口薬学大会における活動

・開催日程 2024年10月13日(日)～14日(月・祝)

・開催場所 かがしま県民交流センター

〒892-0816 鹿児島市山下町14-50

TEL: 099-221-6600 FAX: 099-221-6640

・学会に出席する同窓生の懇親会を開催し、親睦をはかる。

日時: 2024年10月13日(日) 18時から

会場: 「美華園」鹿児島県鹿児島市中町11-9

・九州山口地域の支部活動の活性化を図る。

【広報部】

1. 同窓会会報をより充実する。

1) 同窓会活動の報告 2) 127号・128号の発行

3) 生涯学修に関する掲載

平成塾スクーリング、薬剤師業務支援講座講演をしていただいた先生や卒業生からの寄稿、現在携わっている仕事・研究等の寄稿等をお願いする。

4) 会員相互の親睦、交流に関する掲載

支部会、クラス会等の開催情報・報告また会報への「わが母校」、「我が学生時代の思い出」、「リレー寄稿」薬局通信と「OB・OG会便り」などの執筆・写真の提供についてご協力いただくことにより若い世代の同窓生の輪をより広く発展させたい。

2. ホームページの活用

同窓会ホームページの見直し等を行うことにより更なる充実を図り、広く情報を発信し、会員相互の交流・親睦をより深める場としても活用されることを目指す。

【会計部】

1. 収入の増加策

1) 組織部及び広報部と連携した会費納入率の向上、広告費や寄付金等の呼掛けにより収入増を図る。

2) 会費納入率の向上については総務部、クラス社員、理事・監事と協力し会費未納会員に依頼状を送付する。

3) 学術部と連携し、平成塾の通信講座、スクーリング、業務支援講座等の参加者を増やし平成塾の自立した会計収支を目指す。

議案第3号 令和6年度一般会計予算案

(1) 歳入の部(予算)

(単位: 円)

科 目	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	予算増減	備 考 (令和5年度分)
同窓会費	4,500,000	2,853,000	3,000,000	-1,500,000	納入者数1000名
雑収入	200	11	15	-185	
貯金利息	50,000	0	50,000	0	広告10件(5000x10)
広告料	3,000,000	976,312	1,500,000	-1,500,000	運営協力金
寄付金等	50,000	0	50,000	0	
その他	600,000	439,848	600,000	0	受講者40名
通信講座	170,000	180,100	170,000	0	延べ人数200名(40x5) 認証5名
認定薬剤師等	0	1,000,000	0	0	
積立金より繰入	1,806,603	1,806,603	1,111,736	-694,867	
前年度繰越金	10,176,803	7,255,874	6,481,751	-3,695,052	
収入合計					

(2) 歳出の部(予算)

(単位: 円)

科 目	令和5年度 予算	令和5年度 決算	令和6年度 予算	予算増減	備 考 (令和6年度分)
会議費	500,000	147,427	200,000	-300,000	WEB会議&対面会議
代議員会・総会	506,000	439,802	456,000	-50,000	理事会10回、部会6回
理事会・部会	1,006,000	587,229	656,000	-350,000	
小計	1,100,000	1,452,534	1,100,000	0	会報発行(2回)送料等
広報関連費	660,220	605,000	660,220	0	
HP管理料	1,760,220	2,057,534	1,760,220	0	
小計	700,000	731,667	700,000	0	会場費・講演料・交通費、CPC年会費、CAPEP年会費(協議会)
学術関連費	240,000	5,590	240,000	0	調査料(書籍代等)、PLESO経費
その他	940,000	737,257	940,000	0	
小計	50,000	3,240	30,000	-20,000	CPC、CAPEPの会議費等
渉外関連費	0	0	0	0	
記念事業関連費	2,750,220	2,798,031	2,730,220	-20,000	
小計	40,000	52,789	40,000	0	慶弔関係
慶弔費	2,000,000	1,531,834	1,800,000	-200,000	事務局員給与・交通費
人件費	150,000	230,915	200,000	50,000	電話、FAX、OCN利用料
通信費	550,000	337,364	350,000	-200,000	ハガキ、封筒、文具、送料など
諸経費	50,000	24,142	50,000	0	パソコン関係
O A 関連費	2,790,000	2,177,044	2,440,000	-350,000	
小計	200,000	311,156	200,000	0	支部会参加旅費、懇親会費など
支部関連費	400,000	361,077	400,000	0	支部会、クラス会、クラブOB会助成金
各種助成金	600,000	672,233	600,000	0	
小計	10,000	0	10,000	0	
予備費	10,000	0	10,000	0	
小計	7,156,220	6,234,537	6,436,220	-720,000	
支出合計	3,020,583	1,021,337	45,531		
繰越金	10,176,803	7,255,874	6,481,751	-3,695,052	
支出総合計					

昭薬同窓生りれー寄稿

第 12 回

吉新 裕司 (D-54S 平成18年卒)

緑内障初期の疑いで治療している。緑内障のことも職業柄十分に理解しているが、仕事に追われ、目薬がなくなり半年以上経過した。先日、子供の治療に併せ、ようやく外来へ。目薬がとっくにないことを伝え、罪悪感を抱えながら臨んだ診察で医師から言われたのは「眼圧も下がっており、薬が効いている」という衝撃の一言だった。帰りに同じ目薬を2本も処方され、薬剤師の指導通りにまたこの目薬を使うのだが、これは本当に意味があるのか？

私は小学生の頃から野球に明け暮れた。当時のスーパースターはイチローで、高校時代は松坂大輔、そして今は大谷翔平に夢中である。野球選手にはなれなかったが、MR からキャリアをスタートし、昼はマーケティングの責任者、夜は早稲田大学経営管理研究科の大学院生、週末はスポ根親父の三刀流として、ひっそりと生活している。

これまでのキャリアでは中枢神経領域を主戦場とし、複数の新薬ロウンチをリードしてきた。これらの経験から自身が大切にしていることは「顧客」と「ベネフィット」である。

「顧客」とは、ここでは患者さんとする。一方で「ベネフィット」とは何だろうか？これが非常に難しい。多くの神経疾患は現在のところ、残念ながら不治の病である。では、なぜ治らないにもかかわらず、患者さんは治療するのだろうか？

ある人は、薬があるから使うといい、ある人は薬がお守りだからという。またある人は主治医が飲めというからといい、またある人は家族を困らせたくないといい、またある人はこれ以上悪くならないようにという、またある人はこの薬で今の良い状態が続けば、根本治療薬が出て病気が治るかもしれないからという。

これら全ての患者さんの薬は同じ、期待される効果ももちろん同じである。しかしながら、薬によって得られるベネフィットは全く違うのだ。

マーケティングとは新たな市場を創造すること、ニーズを創ることである。私は患者さんの「ベネフィット」こそが、これらを創造することにつながると考えている。すなわち、効果の先にある大切な何か？を今日も想像し、いかに提供するかを考え抜き、実現し続けることが私の仕事である。服薬指導を担う薬剤師も、効果の先にある「顧客のベネフィット」に想いを馳せることは重要な視点なのではないだろうか？

さて、冒頭が目薬。ベネフィットは何か？一つあるとすると、本寄稿の機会にネタを提供してくれたことになるだろうか？いや、「このまま症状が進行せずに、自身がマーケティングとして携わる薬で患者さんにご家族が幸せに暮らしていくことをこの目に多く焼きつけるため」としておこう。

次回の寄稿者は佐々木 順哉氏 (D-54S 平成 18 年卒) です。

会員のひろば



昭薬桜会紹介

東京都薬剤師会にゆかりのある昭和薬科大学同窓生有志の会「昭薬桜会」は2017年4月に発足しました。初代会長は元同窓会長の宮澤一成先生、二代目会長は元東京都薬剤師会副会長の藤田義人先生、そしてこの度、私が三代目会長を拝命致しました。諸先輩方の意志を次いで同窓生の絆を深めて参りますのでよろしくお願い致します。本年4月には、令和5年度秋の叙勲で瑞宝双光章を受章された阿久津七光先生のお祝いの会を開催しました。諸先輩方が長年の功績により受章の榮に浴されたことは、私達昭和薬科大学同窓生にとってとても喜ばしく、盛会となりました。

高松 登 (D-31A 昭和 58 年卒)

◆「会員のひろば」では皆様からのメッセージを募集しています！◆

近況報告、思い出、趣味・仕事の話、会報の感想など内容は自由です。数文字～250字程度まで。一言メッセージ、短歌・俳句などもお寄せください。氏名、卒業年、ご連絡先をお書き添えの上、同窓会事務局まで郵送・FAX・Eメールでお送りください。同窓会ホームページからもご投稿いただけます。

会報では「寄稿」(250字～1000程度)も募集しています。よろしくお願いいたします。

寄付者ご芳名（敬称略）

2023年度 運営協力金 ならびに 災害寄附金

多くの皆様からご寄附いただきました。心よりお礼申し上げます。

運営協力金（2023年度）

（令和5年4月1日～令和6年3月31日）

S19 濱 和子	S21 權田 揚子	D3A 中村 正子	D6A 鈴木 久子	D6A 本田 正治
D6B 山本 佐知子	D7A 中村 精二	D7A 愛甲 京子	D8B 鈴木 淑子	D8B 森安 美也子
D10A 木下 千恵子	D10A 谷本 善彦	D10A 川奈部 重子	D10B 高木 常吉	D11A 古泉 秀夫
D11A 伊藤 美紀子	D11A 米倉 昌毅	D11B 菊間 雅子	D11B 桃井 宏子	D11B 藤本 美智子
D11B 岡田 珠美	D11B 中枝 和子	D11B 多賀谷 喜代子	D11B 宮崎 安弘	D11B 鈴木 雅子
D11B 谷地元 春義	D12A 赤嶺 正子	D12A 西岡 光子	D12A 山本 剛	D12B 吉村 富枝
D12B 岡崎 由美子	D12B 三上 恵美子	D13A 下地 典子	D13B 我喜屋 宏	D13B 渡辺 純子
D13B 曾澤 静子	D14A 葛巻 秀美	D14A 高取 亨	D14A 富永 佳代	D14A 松坂 久美子
D14B 吉沢 晴光	D14B 笠間 俊男	D14B 阿部 敬子	D14B 宮本 伊代子	D14B 広瀬 れい子
D15A 金子 昌子	D15B 八木澤 洋美	D16 神作 ムツ子	D16 徳永 恭子	D16 高田 一義
D16 前田 敏江	D16 唐澤 喜美子	D16 吉田 定	D17B 前田 芳恵	D17A 田中 由一
D17B 佐藤 博子	D18B 梅村 幸夫	D18B 竹川 正恵	D18B 新富 信子	D18B 櫻井 法子
D19A 北島 准子	D19A 崎山 慶子	D19A 高坂 光則	D19A 吉原 隆一	D19B 若林 康平
D20A 伊藤 理	D20A 梅澤 伸昭	D20A 神谷 朝雄	D20A 新嘉喜 裕子	D20A 安岡 香代
D20A 石垣 千恵子	D20A 新田 玲子	D20A 松村 秀樹	D20A 小山田 笑子	D20A 山崎 和幸
D20A 和田 恵子	D20B 及川 幸子	D20B 藤井 光子	D20B 大原 尚晋	D20B 岡村 康彦
D20B 中曾 晶美	D20B 田部井 伸子	D20B 島袋 幸昭	D20B 鈴木 一美	D20B 渋谷 頼子
D20B 高良 武和	D20B 玉里 靖彦	D20B 羽地 朝秀	D20B 藤井 侃	D20B 知念 範子
D20B 中川 容子	D20B 宮地 富士子	D21A 秋山 計充	D21A 本多 かよ子	D21A 大石 博
D21A 加部 延茂	D21A 牛丸 眞理子	D21A 最首 静江	D21A 小林 美珠	D21A 仲村 明
D21A 小林 雅代	D21A 松本 光男	D21B 林 陽子	D21B 片貝 和代	D21B 与儀 純子
D21B 鈴木 民和	D21B 沼 雅子	D21B 砂川 裕美子	D21B 小原 紀代子	D21B 本部 一郎
D21B 水野 恵子	D21B 本田 孝悦	D21B 小石川 洋子	D21B 須永 悦子	D21B 喜島 悦子
D22A 三好 昌子	D22A 村上 浩子	D22A 屋嘉比 康則	D22B 石川 年春	D22B 佐藤 正美
D22B 越智 主計	D22B 関東 好美	D22B 奥村 京子	D22B 田口 恭治	D22B 逸見 仁道
D22B 松浦 功文	D23A 明月 砂代子	D23A 古謝 通子	D23A 與儀 和子	D23B 梅庭 昌子
D23B 西本 隆志	D23B 川畑 文代	D23B 渡辺 順子	D24A 鶴谷 幸雄	D24A 渡邊 正代
D24B 小暮 昌子	D24B 鈴木 典之	D24B 渡辺 富美子	D24B 森田 孝治	D24B 渡辺 良樹
D24B 大城 聡	D25A 濱崎 嘉子	D25A 上村 義昭	D25A 小鷹 和美	D25A 三浦 敦子
D25A 高橋 仁美	D25B 國場 幸史	D25B 川合 緑	D26B 小林 まゆみ	D26B 飛嶋 充代
D26B 福枝 利恵子	D27A 吉富 むつみ	D27A 倉谷 宏孝	D27A 小田 裕子	D27A 青山 みさお
D27B 齊藤 眞由美	D27B 本田 京子	D28A 竹口 清彦	D28A 阿久津 朋子	D28B 加藤 久美子
D28B 高田 公彦	D28B 鈴木 小智子	D28B 山崎 政男	D29A 坂本 浩子	D29B 相田 邦彦
D29B 川神 裕司	D29B 伊藤 千代	D30A 矢吹 孝子	D30A 平野 俊行	D30B 田中 道正
D31A 佐藤 嘉洋	D31B 浦山 剛	D31B 小林 武史	D31B 下山田 博久	D32A 坂元 微敏
D32A 細田 淳子	D32A 辻 多須子	D32A 室 和恵	D32B 大川 正晃	D32B 高林 郁子
D32B 高林 敏弘	D32B 塚本 久美	D32B 松浦 啓裕	D33A 岸 千草	D33B 石田 成弘
D34A 勝山 昌佳	D34B 小林 広幸	D35A 井上 貴博	D35A 石橋 宏行	D35A 佐々木 啓介
D35B 中村 明生	D35B 古家 佐和子	D36A 清水 修	D36B 鈴木 秀樹	D37A 滝尻 茂晴
D37A 吉成 礼子	D38A 岡部 峰男	D38A 谷口 知美	D38A 高木 昇	D38A 荒古 美恵子
D38A 望月 江利花	D38B 小林 靖奈	D39B 栗原 孝行	D41S 薄井 かやの	D42S 池田 勇
D44Y 鈴木 貴久	D45S 長野 有希子	D50Y 板垣 まゆ美	D50Y 佐藤 英之	D12Bクラス会
匿名希望 2名	氏名不明 3名			

246件（214名、1団体）寄附総額 976,312円

災害寄付 (2023年度)

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

S21 権田 揚子	D3A 中村 正子	D6B 山本 佐知子	D7A 中村 精二	D7A 愛甲 京子
D10A 木下 千恵子	D10A 谷本 善彦	D11A 伊藤 美紀子	D11B 多賀谷 喜代子	D11B 鈴木 雅子
D11B 谷地元 春義	D12A 赤嶺 正子	D12A 戸谷 道子	D12A 山本 剛	D12B 三上 恵美子
D13A 北原 正宣	D13B 渡辺 純子	D13B 曾澤 静子	D14A 葛巻 秀美	D14A 富永 佳代
D14B 吉沢 晴光	D14B 阿部 敬子	D14B 横山 恭子	D15B 八木澤 洋美	D16 高田 一義
D16 吉田 定	D17B 佐藤 博子	D18B 梅村 幸夫	D19A 崎山 慶子	D19A 高坂 光則
D19A 高坂 光則	D20A 神谷 朝雄	D20A 石垣 千恵子	D20A 新田 玲子	D20A 松村 秀樹
D20A 和田 恵子	D20B 及川 幸子	D20B 岡村 康彦	D20B 中曾 晶美	D20B 田部井 伸子
D20B 島袋 幸昭	D20B 鈴木 一美	D20B 羽地 朝秀	D20B 知念 範子	D20B 宮地 富士子
D21A 牛丸 眞理子	D21A 最首 静江	D21A 小林 美珠	D21A 仲村 明	D21A 松本 光男
D21B 与儀 純子	D21B 砂川 裕美子	D21B 小原 紀代子	D21B 水野 恵子	D22B 佐藤 正美
D22B 関東 好美	D22B 松浦 功文	D23A 明月 砂代子	D23A 古謝 通子	D23A 與儀 和子
D23B 梅庭 昌子	D23B 西本 隆志	D23B 川畑 文代	D23B 渡辺 順子	D24A 鶴谷 幸雄
D24A 渡邊 正代	D24B 渡辺 富美子	D24B 渡辺 良樹	D25A 上村 義昭	D25A 小鷹 和美
D25A 高橋 仁美	D26B 小林 まゆみ	D27A 倉谷 宏孝	D27A 小田 裕子	D27B 齊藤 眞由美
D28A 竹口 清彦	D28B 高田 公彦	D29B 伊藤 千代	D30A 矢吹 孝子	D31A 佐藤 嘉洋
D31B 下山田 博久	D32A 坂元 微敏	D32A 辻 多須子	D32A 室 和恵	D32B 大川 正晃
D32B 高林 郁子	D32B 高林 敏弘	D32B 塚本 久美	D33A 岸 千草	D34B 小林 広幸
D35A 石橋 宏行	D35A 佐々木 啓介	D35B 中村 明生	D35B 古家 佐和子	D36B 神馬 裕司
D38A 谷口 知美	D38A 高木 昇	D42S 池田 勇	D44Y 鈴木 貴久	D45S 長野 有希子
D50Y 板垣 まゆ美	匿名希望 2名	氏名不明 1名		

118件 (104名) 寄附総額 369,000円

○災害寄附/運営協力金口座：郵便振替 口座番号：00100-9-485265 ※同封の振込用紙か、郵便局備付けの振込用紙（ご依頼人名欄に「災害寄付」または「運営協力」、「卒年」、「お名前」をご記入下さい）をご利用ください。

○災害寄附口座：りそな銀行 成瀬支店（支店番号647） 口座番号（普通）1365833 いずれも口座名義は
○一般寄附口座：みずほ銀行 町田支店（支店番号116） 口座番号（普通）1782080 一般社団法人 昭葉同窓会

会 員 訃 報

ご逝去を悼み、謹んでご冥福をお祈り申し上げます。（敬称略）（）内は旧姓

S15 塩山 昌子（櫻堂）	栃木県	2022.8.30	D10A 谷本 善彦	鳥取県	2024.5.23
S18 若松 久子（鈴木）	福島県	2018	D12A 三友 郁代	埼玉県	2021年
S18 祝原 和子（佐藤）	埼玉県	2024.3.2	D13B 青木 桂生	石川県	2024.5.11
S21 田中 恵子（鈴木）	埼玉県	2016.3	D14B 南賀 文隆	石川県	2024.1.3
S21 金成 幸子	茨城県	2024.7.22	D14B 渡辺 欣美江（酒井）	埼玉県	2020.7.3
D3A 小林 正雄（藤井）	山口県	2024.2.12	D18A 慶野 多美子（熊田）	茨城県	2024.5.13
D3A 横田 昌彦	埼玉県	不明	D21B 小坂橋 恵子（山崎）	福島県	2022.11
D4B 勝呂 節子（三須）	埼玉県	2023.11.28	D23B 江森 洋一郎	埼玉県	2024.5.16
D5A 曾田 幸作	福島県	2023.9.25	D24A 室伏 昭	静岡県	2024.2.26
D6A 黒瀬 景子（大阪）	富山県	2011.10.31	D26A 佐野 奈津子（藤井）	埼玉県	2024.4.2
			D33B 平塚 賢	福岡県	1996.2

【表紙解説】

【首里城正殿】戦災前の正殿（1715年建築1932年改修）（下）と、1992年に再建された正殿（上）（2019年焼失）

「1429年、尚巴志（しょうはし）が三山を統一し首里城を拠点とした琉球王国が成立しました。（1590年豊臣秀吉全国統一）首里城は過去4度全焼しました。沖縄の本土復帰20周年に当たる1992年、首里城は沖縄戦による消失から47年ぶりに復興しましたが、2019年10月31日に5度目の焼失をしました。現在、2026年秋の完成に向けて復元工事が続いています。」

（沖縄県 美里 安敏様 D-26A 昭和53年卒）※写真は沖縄美ら海財団「首里城物語」より掲載

【オオゴマダラ】大胡麻斑・学名 *Idea leuconoe* チョウ目（鱗翅目）タテハチョウ科マダラチョウ亜科

白黒のまだら模様が特徴的な大型のマダラチョウで、蛹が金色になることでも知られています。日本では主に沖縄県に生息し、沖縄県の県蝶に指定されています。前翅長7センチメートル前後、開長は13センチメートルに及び、日本のチョウとしては最大級。ゆっくりと羽ばたきフワフワと滑空するような飛び方をするため、「南国の貴婦人」と呼ばれます。

（写真提供 沖縄県 大城 喜一郎様 D-20B 昭和47年卒）

※表紙背景は、「伊良部島17END」干潮時に現れる幻のビーチ。（写真提供 沖縄県 牧野 星様 D-42Y 平成6年卒）

支部会・クラス会のお知らせ

愛媛県支部会

日 時：2024年11月10日(日)17:30～20:00
会 場：ANAクラウンプラザホテル 桃園(予定)
松山市一番町3-2-1 TEL089-933-5511
幹 事：渡邊和範(D-22B)※お問い合わせは昭薬同窓会事務局まで。

神奈川北相・湘南合同支部会

日 時：2024年11月10日(日)11:00～12:20
会 場：相模大風センター
相模原市南区新戸2268-1 TEL046-255-1311
講 演：「相模の大風」西山一秀氏(新戸大風保存会 会長)
会 費：7000円

D-20A クラス会

日 時：2024年11月17日(日)12:00～14:30
場 所：アルカディア市ヶ谷 琴平 (受付11:30～)
千代田区九段北4-2-25 TEL 03-3621-9921
会 費：10,000円
幹 事：糸井駿也、梅澤伸昭、村松真理(大原)、神谷朝雄、
後平幸太郎、須藤博子、石川知代子(高野)、浜田博夫、
大槻とし江(細田)、中野裕次

第14回 一般社団法人昭薬同窓会社員総会

日 時：2025年6月15日(日)13:00～16:00
場 所：昭薬会館5階会議室
※オンライン、書面審議、対面を併用した形式で開催します。

第58回日本薬剤師会学術大会

会 期：2025年10月12日(日)・13日(月・祝)
開催地：京都府京都市
※同窓会懇親会「昭薬同窓会 in 京都」の開催を予定しています。

広告募集

掲載料を値下げしました！

会費納入会員は名刺広告無料です。

お勤め先、事業内容などを会報誌でPRしてみませんか？
同窓会では企業・クラブなどの広告や、同窓生の交流促進のための名刺広告を募集しています。事業紹介、人材募集、研修会の案内など会誌を毀損させないものなどのようなものでも結構です。皆様の協賛、ご出稿をお待ちしております。

広告料	1 頁	1/2頁	1/4頁	1/8頁
裏表紙(カラー)	¥40,000	¥20,000	¥12,000	¥5,000
内頁(白黒)	¥20,000	¥10,000	¥5,000	¥2,500
名刺広告	¥1,500- (横7.2×縦3.5cm、内頁・白黒)			

※名刺広告料は会費納入会員は無料(各年度1回)。
※その他、要望等がございましたらご相談ください。詳細は同窓会 HP(<http://shoyaku.net>)、または事務局までお問い合わせください。

同一世帯会員への会報発送について(変更)

この度、社員総会での複数社員からの提案を受け、同一世帯の会員(ご夫婦、親子など)への会報発送を、これまでの会員毎から1世帯1部に変更いたしました。
なお、これまで通り1人1部をご希望の方は、お手数ですが、同窓会事務局までご連絡ください。

会報127号は「2021、2022、2023年度会費納入者」「住所が新たに判明した方」を中心に1世帯1部を発送しております。会報を受け取っていないという方がいらっしゃいましたら、事務局までご一報いただけますと幸いです。

発行者：一般社団法人 昭薬同窓会 代表理事(会長) 田口 恭治
事務局：〒194-0042 東京都町田市東玉川学園3丁目2番2号 昭薬会館5階内
電話 042-722-5750 FAX 042-721-1295
Eメール：alinfo@shoyaku.net ホームページ：<https://shoyaku.net>
印刷所：株式会社 相模プリント

同窓会費納入・運営協力金のお願い

同窓会は皆様の同窓会費と寄附金(運営協力金)によって運営されています。同窓会事業継続のため会費納入にご協力をお願いいたします。

運営協力金(任意の寄附金)につきましても、皆様のご厚情により多くの申し込みがあり心より感謝いたしております。引き続きご支援の程よろしく願いいたします。

また、同窓会では自然災害に見舞われた同窓生にお見舞状の発送や見舞金の拠出を行っています。その財源として一般会計とは別に特別会計「災害基金」を設け寄附を募集しています。同封の振込用紙「災害寄附金」欄が該当します。こちらでもよろしく願いいたします。

※会費は単年度決算方式です。年度内に複数年分振込まれた場合は、余剰分を運営協力金として扱わせていただきますのでご了承下さい。

同窓会費納入方法

郵便振替(郵便振込用紙)

注：同封の振込用紙または郵便局備え付けの振込用紙をご利用ください。

ゆうちょダイレクト

*ゆうちょダイレクトでの送金もできます。なお、ご依頼人名欄にはお名前の前に卒業年を入れて下さい。
例：昭和58年卒の場合、S58 ショウヤクハナコ

口座名義：一般社団法人昭薬同窓会
口座番号：00100-9-485265 同窓会費：3000円

口座引き落としもご利用下さい

ゆうちょ銀行の口座をお持ちの方

お手持ちのゆうちょ銀行の口座から毎年6月30日に引落すものです。用紙は同窓会事務局にありますので、ご連絡いただければお送りします。

市中銀行・信用金庫の口座をお持ちの方

お手持ちの銀行及び信用金庫の口座から毎年6月3日または7月3日に引落すもので、この場合は、同窓会事務局にある所定の申込用紙に記入してください。
事務局にご連絡いただければお送りします。

◆同窓会事務局 住所(住居表示)変更について◆

2024年7月15日から町田市の住居表示整備に伴い同窓会事務局の住所(住居表示)が変更されました。

新住居表示 東京都町田市東玉川学園三丁目2番2号
(旧住居表示 東京都町田市東玉川学園三丁目3138番地)

※郵便番号・電話番号・FAX番号に変更はありません。

編集後記

127号は沖縄特集をお届けしました。会長の「そうだ！沖縄特集をしよう」の一声で準備を進める中、今年6月には大学と沖縄県の連携協定のニュースも飛び込んできました。多くの皆様のご協力、たくさんの寄稿文・メッセージ・写真が集まりました。「昭薬同窓生リレー寄稿」も今号で12回となります。沖縄ならではのエピソードや想い、幅広い分野での同窓生の活躍など盛り沢山の紙面となりました。感想などをお寄せいただけますと幸いです。最後になりましたが、今号の発行にあたり、ご寄稿くださいました皆様、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。(T.K.)

■会報掲載の原稿・写真等の返却について

会報に掲載した原稿、写真、イラスト等については返却いたしませんのでご了承下さい。ただし返却が必要な場合は速慮なくお申し出下さい。

同窓会事務局へのお問合せは月曜日～金曜日の12時から15時にお願いたします。